

防振ゴムの基礎知識と車両適用技術・寿命予測法

日時
2017年 6月23日(金)
10:30 ~ 17:00

税込受講料
1名 48,600円
2名以上1名 45,360円

案内図



飯田橋駅下車 各徒歩約5分
JR中央線(緩行線)
地下鉄東西線(A5出口)
地下鉄有楽町線・南北線(A4出口)
都営地下鉄大江戸線(A4出口)

＜お申込要項＞

- ・参加ご希望の方は、HP・E-mail・FAX 電話、何れかにてお申込ください。
- ・お申込に際し、社名・部署名・受講者名住所・連絡先(TEL・FAX・E-mail)をお知らせください。
- ・お申込次第、受講票・請求書等を発送します。受講料のお支払は銀行振込・当日持参のいずれかをお願いします。
- ・受講料は講座後のお支払いも対応致します。(個人申込除く)
- ・開催日前14日以降のキャンセルはお受けできません。
- ・受講者数が開催基準定員に満たない場合は中止になります。

会場 産業科学システムズ会議室(東京都千代田区富士見1-5-1)

講座概要

自動車の開発で、エンジンマウント、ストラットマウント、ダンパー等の防振ゴム部品は自動車の走行性能と快適な車室空間を支える非常に重要な製品です。本講座では自動車用防振ゴム材料の基礎知識から車両に適用する際の信頼性評価技術までを業務に役立つようにわかりやすく解説します。

プログラム

講師

日産自動車(株) R&Dエンジニアリング・マネージメント本部
車両品質推進部 車両品質改善グループ 相原 敏彦 氏
日本科学技術連盟認定 中級信頼性技術者

- | | |
|---|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. ゴムの歴史 2. ゴムの特徴 3. 主なゴムの種類と用途 4. 防振ゴムの材料選定 5. 簡単な静バネ定数の計算 <ol style="list-style-type: none"> a) 圧縮方向 b) せん断方向 c) バネ定数の計算例 d) 圧縮とせん断のバネ定数比 6. 自動車用防振ゴムへの振動入力 7. 動特性の特徴 <ol style="list-style-type: none"> a) 動バネとロスファクターの関係 b) 動特性の温度依存性 c) 動特性の歪振幅依存性 8. 振動騒音の検討モデル <ol style="list-style-type: none"> a) 振動 b) 騒音 9. 構造の工夫による特性の改善 <ol style="list-style-type: none"> a) インターリーブ | <ol style="list-style-type: none"> 10. 疲労寿命予測の問題点 <ol style="list-style-type: none"> 11. 環境条件 12. 疲労強度の考え方 <ol style="list-style-type: none"> a) マイナー則の適用 b) 寿命予測の概念 c) S-N線図 d) 変動歪と平均歪 13. 市場負荷の特徴 14. 疲労強度のばらつき <ol style="list-style-type: none"> a) ばらつき因子の分離 b) ばらつきの見積り c) 異物による耐久性の変化 15. 熱劣化の考え方 <ol style="list-style-type: none"> a) 市場回収品の調査 b) T-t線図 c) 疲労強度と熱負荷 d) へたり 16. オゾン劣化特性 17. 接着剤の故障モード <ol style="list-style-type: none"> a) R-C破壊の事例と対策 b) M-C破壊の事例と対策以上 |
|---|---|

お申込・お問合せは

主催 ISS 産業科学システムズ
<http://www.ebrain-j.jp/>

TEL (03)3264-5635 FAX (03)3264-5675
E-mail: education@ebrain-j.com

申込書 FAXは 03-3264-5675

参加申込書 防振ゴムの基礎知識と車両適用技術・寿命予測法

セミナーコード

1101-170623

太枠内をご記入の上FAX (03-3264-5675) してください。

2017/6/23 ISS

社名	所在地	〒		電話	()
No.	所属部課(正式名称)	氏名	E-mail アドレス		-
				FAX	()
					-
窓口部署				通信欄	
この講座をお知りになった媒体を○で囲んでください パンフ はがき Eメール ホームページ 検索サイト() その他					